



◇ 田中電気の情報発信NEWSレター ◇



田中電気 高円寺事務所の紹介



手前の建物1Fにある受付窓口。タクシーや運送会社様の無線機の取替えや修理の受付をしています。杉並区高円寺南5-7-5 (6)

環七通りに面して建っています。手前が無線機の修理受付、奥のビルが社会通信システム本部



無線機の点検・調整を行っています

無線機の部署に11名、奥の建物には公共事業の部署、こちらに6名。

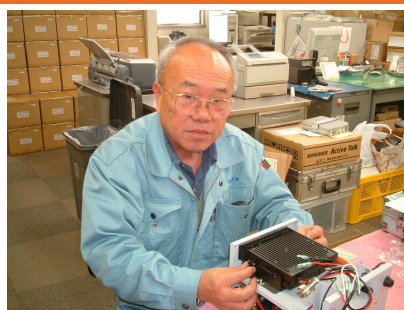
無線機の部署は主に、タクシー・運送会社様の無線機の取付・修理・メンテナンス業務を行っています。おかげさまで都心のタクシー無線機の取付は今までに約5,700車。最近ではバス会社様(関東バス様に約400台)にも。現在、都バス様に1,400台のセットアップ業務を行い順次取付け予定です。無線機の保管と管理もしています。お客様が使う日にあわせて、お客様が使いたいときにいつでもすぐに最高の状態でお出しできるように、整備をしています。(写真左下)

奥の建物、公共事業部門では、地下鉄でラジオが聴けるようにする工事、都バスのバス停で今バスがどこにいるか位置を確認できるバス停の設置や、病院のナースコールの設置業務を行っています。



1台1台ピンセットなどを使って丁寧に掃除しています

田中電気の社員紹介 “今月のこの人”



情報システム本部 技術部
隈崎 廣幸さん

趣味は、釣り、草木を育てること。入社は昭和43年。勤続39年の大ベテランです。入社当時の田中電気の本社は木造2階建てとのこと!(現在auショップが入っているビル)『すんなりいった現場はあんまり印象がない。苦労した現場ほど心に残っている。最終的にはお客様に喜んでいただけました。』お客様に満足いただけるような仕事を約40年心がけてきました。若い人にもがんばってもらいたい

何でもお気軽にお問い合わせください

(記事に関する事や、田中電気へのご質問・その他ご相談など)

0120-150-712 または afc@tanaka-denki.co.jp まで

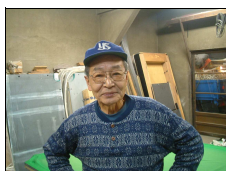
秋葉原ファクトリーは田中電気のお客様のための窓口です

アキバで昭和のレトロな雰囲気味わいながら ビリヤードはいかがですか？ 『淡路亭』

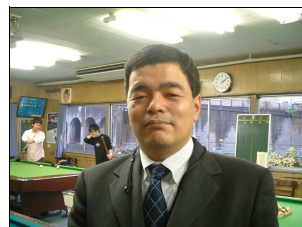


創業1690年。秋葉原駅と御茶ノ水の間があり、JR中央線の中からビリヤード風景を見ることができます。1Fはビリヤード工房。台の調整にかけてはどこにもひけをとりません。(写真左)

日本全国から依頼があるそうです。



『ビリヤードの魅力とは頭を使わずに遊ぶスポーツ。気軽に遊びにいらしてください。』(前田営業部長談)
SHOP DATA:千代田区外神田2-1-7 2F
TEL 03-3253-1025
プレイ代(1時間)560円/学生500円
11:00~23:00 日曜定休



前田営業部長

◆お知らせ

『震災対策技術展2008』に出展します

日時 1/31(木)~2/1(金)

午前10時~午後5時

場所 横浜国際平和会議場

(パシフィコ横浜) 展示ホール

※田中電気(株)ブース 516番

JR桜木町駅より徒歩15分

みなとみらい線みなとみらい駅より徒歩5分

ご来場ご希望の方は、

震災対策技術展のホームページ

<http://www.exhibitiontech.com/etec/>

より、特別ご招待券の登録をいただくか、

0120-157-712(担当矢島)

または、afc@tanaka-denki.co.jp

までご連絡ください。招待状をお送りします!

※ご来場をいただいた方に記念品贈呈します

江戸の歴史 『毘沙門天の善国寺』 (びしゃもんてんのぜんこくじ) シリーズ No. 12

JR飯田橋西口を出て外濠を渡るとすぐに神楽坂下の入口に出る。

この神楽坂を上った左手にある。山の手七福神の一つ、毘沙門天像を安置する善国寺は文禄4年(1595年)麴町6丁目に創建された(付近に善国寺坂の名が残る)。この場所は、たびたび火災にあったため火除地として召し上げられ、寛政5年(1793年)に現在地に移転した。

“神楽坂毘沙門天”として江戸時代から信仰をあつめ、神楽坂一帯はその門前町として発展した。

毘沙門天像は開山の日傭(にっせい)上人が関白二条昭実から贈られたものと寺の記録にはあるが、一説には、加藤清正の守仏ともいわれる。甲冑具足に身を固め、左手に宝塔、右手に宝棒を持ち、夜叉鬼を踏みつけて立つありさまは、いかにも勇ましい。像は、木造黒檀塗りで像高30センチ、室町末~江戸時代初頭の作とされる。明治から昭和の初め頃にかけては、山の手随一の繁華街となり、「山の手銀座」とよばれた。

特に毎月寅の日(のちに出世稲荷の午の日も)の縁日は、人出で歩けないほど賑わった。夜店もここが始まりで、明治20年(1887年)頃から、現在でも界限はお洒落な店が多く夜遅くまで賑わっている。



編集後記 神楽坂は、善国寺のあるメインの通りにもお店がたくさんありましたが、裏通りにも雰囲気の良いお店がたくさんありました。今度いろいろ探索してみたいです。個人的にお勧めなのが、飯田橋西口を出てお堀端すぐにある水上レストラン『カナルカフェ』(03-3260-806)です。水上デッキで、ちょっとしたリゾート気分になります。380円からサーモンマリネなどのおつまみがあります♪HPによるとペットもOKとのこと。